



校章 昭和27年制定

# 令和4年度 学校要覧



初代校長:小岩井是非雄 像

## 校歌

昭和58年制定

島崎光正 作詞  
飯沼信義 作曲

一 光をめざし

若草のように  
空にのびよう

鉢伏のふもとの丘で  
強く直く

二 ひとみをかわし  
いずみのように

共に学ぼう

ひろがりの世界の中で  
日々をあらたに

三 西山の雪

かがやくように  
きよき望み

ひとすじの道につながる  
われらが母校

## 長野県松本ろう学校

昭和3年(寺田五三子氏により創立)

〒399-0021 長野県松本市大字寿豊丘820

☎0263-58-3094 Fax0263-85-1411

寄宿舎☎・Fax0263-86-0100

ホームページ: <http://www.nagano-c.ed.jp>

E-mail: [matsuro@nagano-c.ed.jp](mailto:matsuro@nagano-c.ed.jp)

標高706m 北緯36度10分7秒 東経137度59分33秒



松本ろう学校HP  
案内地図あります



さぼっぼくん



目指すべき特別支援学校像

- 一人ひとりの子どもの可能性が最大限伸びる特別支援学校
- 地域とつながり、共生社会をリードする特別支援学校

学校目標：声さわやか・心ゆたか・体げんき  
 本年度の重点：読む(受信)力・書く(発信)力の育成

● 中南信地域聴覚障害教育センターの役割を果たす  
 ○ 教育相談・通級による指導(派遣・巡回)、早期相談・支援の充実  
 ○ 中南信圏域の聴覚障がい児生支援(関係市町村教委との連携)  
 ○ 医療・福祉・難聴児支援センター・労働等との連携・調整

◎ 家庭・関係機関等との密接な連携

- 日本語の力を核とした学力の向上
  - 働く力の育成を目指した体力・社会性の向上
  - ICTの積極的活用 ○ 主体的・対話的で深い学び
- ★ 専門性の発揮(専門性サポートチームを柱に)  
 確かな子ども理解に基づいた 個別の指導計画  
 + 授業や生活支援の改善(事例検討)

◎ 自立活動・キャリア教育の充実

● 一人一人が自分の力を発揮し、自分らしく生きていく力を育む [早期からの系統性ある一貫指導]

● 見通しある生活の中で共に育つ(舎)

- 基本的生活習慣・生活リズムの確立支援
- 両校舎生の安心・安全・豊かな関係づくり
- 社会生活力を育む主体性を大切にしたい支援

求められる ろう学校職員の姿

〈常に子どものきこえを意識し、子どものありのままを分かち、考え合うチーム〉

- 授業力・生活支援力の向上を目指し、実践を通して研究・研修に努める職員
- 率先して人権を守り大切に作る職員
- 聴覚障がい児者や保護者に寄り添い、共に成長し、考え合う職員
- 互いの思いを尊重し、発信し合いながら相互にのりしろ厚く連携する職員

- 安心・安全な学校
- ・日々の人権教育
- ・毎月の安全点検
- ・安全教育の実施
- ・防災教育の実施
- ・健康教育の実施

教育公務員としての基礎的研修

高い倫理観と人権意識・非違行為根絶・危機管理 等

長野県特別支援学校重点項目

小中高等学校における  
特別支援教育の対応  
力の向上を支援

特別支援学  
校の専門性  
の向上

すべての幼児児童生徒に  
対し、一人ひとりのニーズ  
に応じた教育を提供

地域や企業の  
方との協働の学  
びの充実

地元の同世代の友  
との交流及び共同  
学習の充実



# 学校教育目標:声さわやか 心ゆたか 体げんき

## 各部の目標

幼稚部	聴く子どもたちを育てる幼稚部	あいさつしよう なかよくしよう いっぱいあそぼう
小学部	進んで自分を表現する子を育てる小学部	よく聴こう・伝えよう 友だちを大切にしよう 体をきたえよう
中学部	自分から学ぶ気持ちを育てる中学部	コミュニケーションの充実 たくましい心身・人間関係 確かな基礎学力・思考力と自己実現力を育てる
高等部	主体的に自分を創る高等部 (産業工芸科／被服科)	伝え合え 知を磨け 健全であれ
寄宿舎	一人一人に合った 自立に向けた力を育てる寄宿舎	自分の気持ちや考えを伝え合いながら生活しよう 個々で定めた目標の達成を目指すと共に、仲間と支え合いながら楽しい生活をしよう 規則正しく安心安全な生活をしよう



寄宿舎 お楽しみ会



幼稚部 歌に合わせてバスごっこ



高等部産業工芸科 真剣に作業



小学部 収穫祭



中学部 授業風景

## 基本日課

幼稚部		小学部		中学部・高等部		寄宿舎	
9:00	登校	8:25	朝の活動	8:25	朝の活動	6:00	起床
9:15	個別指導	8:40	朝の会	8:35	朝の会/SHR	7:00	朝のつどい
9:45	元気の時間	8:50	1校時	8:50	1校時	7:40	朝食
10:20	おはようの会	9:45	2校時	9:50	2校時	8:00	登校準備
10:50	自由遊び	10:30	休み時間			8:15~	登校(順次)
11:40	学級の時間	10:50	3校時	10:50	3校時	15:00~	下校(順次)
12:20	給食	11:45	4校時	11:50	4校時	15:30	個人活動 学習・入浴 等
13:55	全体活動	12:30	給食	12:40	給食	18:00	夕食
14:30	帰りの会	13:35	5校時	13:35	5校時	18:30	歯磨き
14:55	個別指導	14:30	6校時	14:35	6校時	18:50	清掃
15:40	下校	15:15	清掃	15:30	清掃	19:00~	個人活動 学習・入浴 等
		15:30	帰りの会	15:40	帰りの会/SHR	21:00	就寝 ※学習延灯23時
		15:45	下校	16:00	下校/部活		
		※スクールバス出発16:00		17:00	部活下校		

※火曜は園庭交流等有 別日課

## 幼児児童生徒数

部	年	男	女	計	合計
幼稚園部	3歳	1	1	2	4
	4歳	1	1	2	
	5歳				
小学部	1				8
	2	1	2	3	
	3				
	4	1	1	2	
	5				
	6	3		3	
中学部	1	2	1	3	6
	2	1		1	
	3	2		2	
高等部	1				6
	2		1	1	
	3	3	2	5	
合計		15	9	24	24

### 早期支援・通級指導対応の状況 (R4.4.18現在)

早期支援	0歳児② 1歳児⑧ 2歳児② (松本市④ 飯田市② 伊那市② 安曇野市①・塩尻市① 池田町① 松川村①)	12
通級指導	小⑥(駒ヶ根市・岡谷市・箕輪町・ 塩尻市・松本市・下諏訪町) 中④(飯田市②・富士見町・松本市)	10

## 教職員数

職種	男	女	計
校長	1		1
教頭	1		1
養護教諭		1	1
教諭	10	18	28
講師		9	9
早期支援員		1	1
早期相談員		1	1
実習助手		1	1
寄宿舎教諭	3	4	7
寄宿舎指導員	3	2	5
事務長	1		1
事務職員	1	2	3
主任管理栄養士		1	1
校用業務員	1		1
学校看護師		3	3
教員業務支援員		3	3
学校医	2	2	4
学校薬剤師	1		1
その他		3	3
合計	25	51	76

校内相談窓口: 校長室・保健室・職員室  
困ったこと・相談等があればいつでも対応

## 出身地別幼児児童生徒数

市町村等	幼	小	中	高	計
松本市	2	5	3	4	14
安曇野市	2	2	1		5
岡谷市				1	1
茅野市			1		1
伊那市				1	1
南箕輪村			1		1
飯田市		1			1
その他					

### 高等部卒業生の進路状況 (平成24年度～令和3年度)

進学	東京藝術大① 筑波技術大② 長野大④ 東京女子体育大① 本校専攻科③ (H28開科)	11
一般就労	製造 県外⑤ 県内③ 運輸・通信② サービス① 公務員①	12
福祉就労	移行支援② 就労継続支援A型② 就労継続支援B型⑦ 生活介護 等	11
計		34



さぼっぼくん

## きこえとことばの教育相談 『ミミサポ』 (松本ろう学校のセンター的機能)

難聴児支援センター等と連携しながら、聴力レベルにかかわらず、聞こえにくさのある子ども達が、地域で学習したり生活したりしやすくなるようサポートします。お気軽にご相談ください。

※ 飯田市立丸山小学校内で、月1回、0歳～2歳児の早期支援教室も実施しています。

### 幼保・学校の先生方から

- ・ 難聴のある子どもが在籍しています。職員研修をしてほしいです。
- ・ 一側性難聴等、聞こえにくさのある子どものために、どのような環境への配慮が必要ですか。
- ・ 集団生活の中で、特に気をつけたことは何ですか。
- ・ 水泳学習等、補聴機器を外した活動の時に配慮することは何ですか。
- ・ 英語のリスニングは、どのような配慮をしたらいいですか。

### 幼児・児童・生徒本人から

- ・ きこえや補聴機器のことを友だちにも知って欲しいのですが、どうしたらいいですか。
- ・ 聞こえにくさのある(補聴機器をつけている)仲間と交流できる機会がありますか。
- ・ 集団生活の中で、どんなことに気をつけながら生活をしていったら、友だちともっと仲良くなれますか。

### 乳幼児保護者等から

- ・ 難聴があると言われました。どんなことを大切にしたらいいですか。
- ・ 「ことば」はどのように発達し、覚えていくのですか。
- ・ よりよい発達を促すために、どのように関わったり話しかけたりすればいいのでしょうか。
- ・ 補聴器や人工内耳をつけるのを嫌がります。どうしたらいいですか。